

  
 リックサポートのお客様へ

ちよこつと!  
**知っ得ニュース平成30年9月号**



**9月号は【火災保険参考準率改定】について**

**\* 参考準率とは？**

参考純率は、損害保険料率算出機構が算出する純保険料率のことです。会員保険会社から収集した大量の契約・支払データ、各種外部データを活用して火災保険の参考純率を算出し、会員保険会社に提供しています。会員保険会社はこの数値を参考に、自社の保険料率を決定することが出来ます。

保険料率の仕組み

**保険料率 =**
純保険料率
付加保険料率

- \* **純保険料率**  
事故発生時、保険会社が支払う保険金に充てられる部分
- \* **付加保険料率**  
保険会社が保険事業を営むための必要経費等に充てられる部分

**\* 住宅総合保険の参考準率が平均5.5%引き上げに！**

台風等の自然災害や水濡れ損害の増加に伴い、保険金の支払額が増えたため、参考準率の引き上げが決定されました。

具体的な例として、以下の災害が挙げられます。

- \* 2013年度の大規模な雪災（関東甲信地方に被害）
- \* 2015年度の台風15号（九州地方に被害）
- \* 冬季の凍結や老朽化等で水道管等に生じた事故による水漏れ損害



**\* 改定率の例**

保険金額が建物2,000万円、家財1,000万円の場合（建物構造別）

	M構造		T構造		H構造	
	都道府県	改定率(%)	都道府県	改定率(%)	都道府県	改定率(%)
最大	熊本県	40.1	熊本県	24.4	熊本県	25.9
最小	愛媛県	4.1	三重県	▲8.7	三重県	▲17.3

建物の構造種類について

- M構造：鉄筋コンクリート造等の共同住宅
- T構造：鉄骨造等の耐火構造などの建物
- H構造：木造住宅等のM、T構造以外の建物

※上記は参考準率の改定であり、実際の契約にあたっての保険料の改定率とは異なります。

<より詳しい情報はこちらでご確認ください！>

損害保険料率算出機構HP：<https://www.giroj.or.jp/>

～日頃のリックサポートがどんな活動をしているのかをご紹介します！次号も乞う期待下さい!!～